令和５年１２月２２日　ＮＯ．７

松波小　道徳通信

学校行事と道徳科

今日は冬至ですね。いよいよ年の瀬が押し迫ってまいりました。保護者の皆様には、２学期も学校行事へのご協力をいただき、ありがとうございました。２学期は相撲大会になかよし学校、遠足にマラソン大会と、たくさんの行事がありましたね。今回は「学校行事と道徳科」についてお話したいと思います。

学校行事におけるさまざまな活動を道徳的視点で捉えてみると、多くの道徳的価値が隠れていることに気付きます。例えば、校内相撲大会における縦割り活動では「親切、思いやり」「友情、信頼」「感謝」という道徳的価値とつながる実践や行為がたくさん行われています。ここで大切なのは、これらの活動に道徳的な価値付けをすることです。「活動あって学びなし」とならないよう、道徳的視点をもって励ましや賞賛の声掛けを教員は意識して行っています。道徳科の授業では道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育みます。そして学校行事には、多くの道徳的実践・道徳的行為を行う機会と場があります。学校行事と道徳科は、本当に密接に関連しています。３学期もさまざまな学校行事において、道徳的な価値づけを意識し、子どもたちの活動を学び多いものにしていきたいと思います。来年もご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

アンケートのご協力、ありがとうございました！

１学期の回答と比較すると、「あなたのお子さんは、困難があってもくじけず粘り強く努力する」という項目で「全く思わない」や「わからない」といった否定的な回答がなくなり、本校児童のレジリエンスが高まってきたように思います。また、３学期にもご協力をお願いいたしします。

授業のようす、紹介します（＾＾）

今回は２年生の授業の様子を紹介します。この日の授業は級外道徳で、河元先生が授業をしました。「ながいながいつうがくろ」という話を通して、自分たちの住んでいる町のよさについて振り返っていました。パドレッドで自分たちの考えを共有する姿も素敵ですね。